



04 70年の歴史に幕 高松・赤羽根・若戸保育園閉園式

昭和27年に開園し、赤羽根地区の中心的な子育ての場として地域とともに運営してきた高松・赤羽根・若戸保育園の閉園式を、3月28日(月)に開催しました。

それぞれの保育園では、思い出のスライドショーが上映され、これまでの保育園生活を振り返りました。そして、園児全員が思い出の歌を歌い、各園長がお礼の言葉を述べました。

閉園式の後には、園舎の一般開放を行い、地域の方たちに思い出の保育園を見学してもらいました。約70年にわたって、地域の子どもたちの健やかな成長を支えてきた3つの保育園の幕が閉じました。

▶子育て支援課 ☎ 23-3513



▲閉園にあたり感謝の言葉を述べる山下乡長(高松保育園)



▲思い出の歌を元気に歌う園児たち(若戸保育園)



▲園庭で笑顔を見せて記念撮影(赤羽根保育園)

05 新たな子育て拠点のスタート! あかばねこども園開園式

高松・赤羽根・若戸保育園の統合民営化により、令和4年度から開設する幼保連携型認定こども園「あかばねこども園」の開園式が、4月2日(土)に開催されました。

あかばねこども園は、高低差のある土地を活かした園庭に加え、子どもたちの気持ちや活動に合わせたさまざまなコンセプトの部屋があります。子どもたちが自分の好きな場所で、好きな遊びができる施設となっています。

開園式は、園庭で行われ、^{こんせん}金仙園長から「子どもたちを中心に素敵な園を作っていきたい」と話がありました。そして開園式の後には、記念植樹として、園庭の真ん中にシンボルツリー「ムクノキ」が植えられました。



▲先生の話聞く園児と保護者たち

あかばねこども園の概要

運営 学校法人正円寺学園
所在地 田原市赤羽根町天神21
利用定員 221名
(満3歳未満児56名、満3歳以上165名)



▲あかばねこども園の外観



▲ムクノキの横であいさつをする金仙園長

▶あかばねこども園 ☎ 45-2416